



※「ほっとだて」のロゴデザインは、保原高校美術部の生徒さんが作成しました。



## つつこ引き祭り (伊達市指定文化財・無形民俗)

平成28年3月6日に催行

厳島神社の祭礼では五穀豊穡を願って、つつこ引きが催行される。享保年間の飢饉の折、米を作るための種もみまで食べ尽くしてしまう惨状だった。ときの領主であった松平通春公(のちの尾張藩第7代当主徳川宗春)は厳島神社御祭神のお告げにより、領民に種もみを配り種を蒔いたところ、翌年大豊作になり飢饉から立ち直った。里人は御祭神のご加護と松平公への感謝の意を込めて神前に初穂を供え、つつこを引き合ったことがつつこ引きの起源とされる。

### Contents

議会構成	P2・3	調査特別委員会報告	P15
3月定例会審議議案	P4~6	みなさんからの請願・陳情	P15
一般質問	P7~14	賛否一覧表	P16

# 新しい議会構成決まる

第3回臨時会を5月10日に開催し、任期満了に伴う各常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任、正副委員長の互選のほか、一部事務組合議会議員の選挙を行いました。議会構成は次のとおりです。

議長

副議長



**安藤 喜昭**  
(64)  
梁川町二野袋字志津1  
[無所属]



**大橋 良一**  
(68)  
霊山町大石字院主1  
[無所属]



◎委員長 ○副委員長 委員は議席順に紹介（年齢、5月26日現在）

## 総務生活 常任委員会 (8人)

市長直轄、総務部、財務部、市民生活部、会計課、監査委員及び選挙管理委員会の所管に関する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項の審査



◎ **佐藤 実**  
(56)  
保原町字三丁目8  
[民進党]



○ **菅野 喜明**  
(39)  
霊山町上小国字栗ノ口13  
[無所属]



**佐々木 彰**  
(51)  
霊山町掛田字西裏52-2  
[無所属]



**熊田 昭次**  
(65)  
保原町金原田字二田ノ入30-2  
[無所属]



**半澤 隆**  
(69)  
月舘町月舘字町37-2  
[無所属]



**吉田 一政**  
(76)  
中志和田39  
[無所属]



**大橋 良一**  
(68)  
霊山町大石字院主1  
[無所属]



**安藤 喜昭**  
(64)  
梁川町二野袋字志津1  
[無所属]

定数9人（欠員1）

## 予算決算 常任委員会 (24人)

予算及び決算に関する事項の審査



◎ **清野 公治**  
(66)  
保原町柱田字武士沢25  
[無所属]



○ **原田 建夫**  
(68)  
梁川町新田字東前51  
[無所属]

定数26人（欠員2）

# 文教福祉 常任委員会 (8人)

健康福祉部及び教育委員会の所管に関する事項の審査



◎菊地 邦夫 (72)

保原町字西町54-4  
[無所属]



○八巻 善一 (75)

梁川町山舟生字鹿野新田55  
[無所属]



近藤 眞一 (51)

保原町字四丁目32-2  
[日本共産党]



橘 典雄 (66)

梁川町新田字町通53  
[無所属]



丹治千代子 (69)

靈山町山戸田字土関12  
[社会民主党]



小野 誠滋 (72)

梁川町東大枝字北町2  
[無所属]



松本 善平 (76)

梁川町字北町頭6-1  
[無所属]



滝澤 福吉 (71)

保原町字実町55  
[無所属]

# 産業建設 常任委員会 (8人)

産業部、建設部、上下水道部及び農業委員会の所管に関する事項の審査



◎大條 一郎 (58)

保原町字栄町100-5  
[公明党]



○大和田俊一郎 (62)

梁川町五十沢字宮下16  
[無所属]



佐藤 清壽 (68)

靈山町掛田字古川16-6  
[日本共産党]



菅野與志昭 (58)

箱崎字沼頭2  
[無所属]



中村 正明 (62)

梁川町字田町5-1  
[無所属]



高橋 一由 (64)

伏黒字南屋敷5-3  
[無所属]



清野 公治 (66)

保原町柱田字武士沢25  
[無所属]



原田 建夫 (68)

梁川町新田字東前51  
[無所属]

定数9人(欠員1)

- 議会広報委員会
- 委員長 大條 一郎
- 副委員長 菅野 喜明
- 委員 近藤 眞一
- 委員 佐々木 彰
- 委員 佐藤 実
- 委員 中村 正明

- 伊達地方消防組合 議会議員選挙
- 消防組合の佐々木彰議員の辞職による欠員1人を選挙しました。
- 当選人 松本 善平

- 議会運営委員会
- ◎ 佐々木 彰
- 小野 誠滋
- 佐藤 清壽
- 丹治 千代子
- 佐藤 実
- 高橋 一由
- 松本 善平
- 吉田 一政

# 3月定例会

平成28年第2回伊達市議会定例会は2月25日に招集され、3月17日までの22日間の会期で開催されました。市長から提案された案件は、専決処分報告2件、人事3件、条例の制定5件、条例の一部改正11件、補正予算7件、当初予算21件、その他3件の52件でした。これらの案件は、一部を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり可決、同意しました。  
また、議員提出による条例の改正1件、委員会発議の意見書4件についても原案のとおり可決しました。

## ■条例

### ○伊達市行政不服審査会条例

平成28年4月1日に施行される行政不服審査法に規定される執行機関の附属機関となる伊達市行政不服審査会について、必要な事項を定めるため、条例を制定しました。

男女共同参画を計画的に推進するため、基本理念など必要な事項を定める条例を制定しました。

伊達市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例

子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例を制定しました。

子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例を制定しました。

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例を制定しました。

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

旧伊達市教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、関係する条例の一部を改正しました。

福島県人事委員会による職員

伊達市男女共同参画推進条例

伊達市税条例の一部を改正する条例

伊達市一般職の任期付職員に関する条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

いきました。

伊達市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

福島県人事委員会勧告に準拠し、民間給与との較差を埋めるため、若年層に重点を置きながら給料表の水準を引き上げるとともに、民間の支給状況等を踏まえ勤労手当支給割合を引き上げる改正を行いました。

伊達市一般職の任期付職員に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会勧告に準拠し、給料表を引き上げるとともに、特定任期付職員の期末手当支給割合を引き上げるため、改正を行いました。

伊達市税条例の一部を改正する条例

地方税分野における個人番号利用手続の一部見直し、行政不

国が基準を定めた省令の改正

伊達市立学校設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

伊達市立保育所設置条例の一部を改正する条例

## ■その他

伊達市過疎地域自立促進計画

東日本大震災の影響を踏まえ、平成27年度までとされていた計画期限が平成32年度までに延長されたことに伴い、平成28

# 平成27年度各会計の補正予算

(単位：千円)

会計区分		補正額	補正後予算総額	説明
一般会計		▲ 1,565,670	34,468,399	歳入 指定寄附金、諸収入等 増額 県支出金、繰入金等 減額 歳出 地域創生戦略事業等 増額 継続費 上保原小学校耐震、大規模改修事業 繰越明許費 災害復旧事業、除染対策事業等
特別会計	国民健康保険	5,663	8,546,441	償還金及び還付加算金等
	後期高齢者医療	2,724	683,007	後期高齢者医療広域連合納付金等
	介護保険	▲ 14,123	6,507,873	包括支援事業・任意事業費等
	公共下水道事業	▲ 45,859	1,029,237	下水道建設費等
	月館宅地造成事業	▲ 25,825	2,082	不動産売払収入
水道事業会計	収益的支出	▲ 4,544	1,797,702	減価償却費等
	資本的支出	▲ 179,352	1,122,729	配水施設整備費等

年度から平成32年度までの伊達市過疎地域自立促進計画を定めました。

## ○伊達市都市計画マスタープラン基本構想

今後20年の本市のあるべき姿や土地利用、交通、環境、景観、都市施設や生活環境など、まちづくりの様々な分野に至る総合的な指針を定める「伊達市都市計画マスタープラン基本構想」を定めました。

## ○伊達市道路線の認定

相馬福島道路の整備に伴い、道路改良した犬飼2号線を道路法の規定に基づき、新たに認定しました。

## ■人事

### ○人権擁護委員候補者の推薦意見

人権擁護委員の任期満了に伴い、法務大臣に人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任であるとしてしました。

桃井 文市さん(伊達市梁川町) 引地 正広さん(伊達市霊山町)

### ○伊達市教育委員会委員の任命 同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、引き続き任命することに同意しました。

太田 康一さん(伊達市月館町)

## ■議員発議

### ○伊達市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の勧告内容を踏まえ、議員期末手当の支給割合を引き上げる改正を行いました。

## ■委員会発議(意見書)

3月定例会で可決した次の意見書を関係大臣等に送付しました。

### ○寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書

### ○給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書

### ○軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書

### ○森林除染の推進を求める意見書

## 5月臨時会

平成28年第3回伊達市議会臨時会は、平成28年5月10日に招集されました。市長から提案された案件は、人事1件、その他1件の計2件でした。これらの案件は、人事案件を除き所管の委員会に付託して審査の後、本会議で採決した結果、原案のとおり選任、可決しました。

## ■人事

### ○監査委員の選任同意

議会から選出される監査委員に熊田昭次議員を選任することに同意しました。

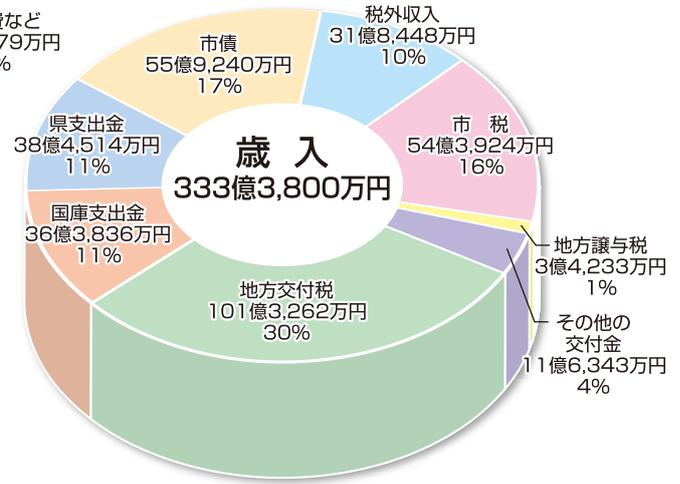
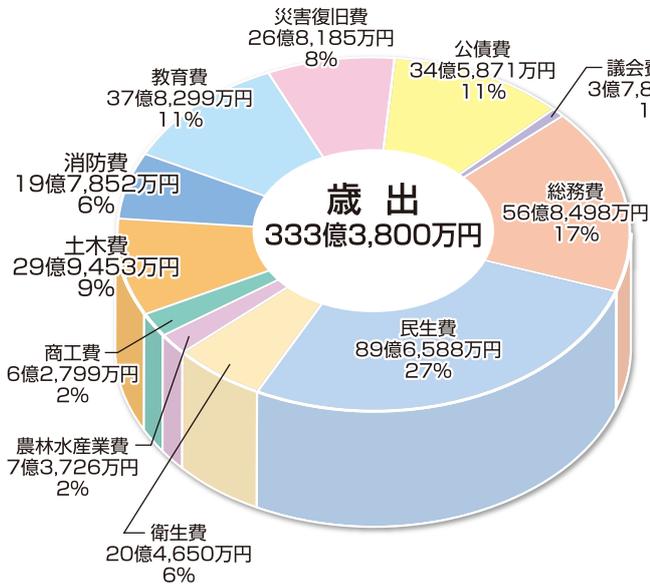
## ■その他

### ○工事請負契約の締結について

伊達市同報系防災行政無線施設整備工事請負契約を締結することを可決しました。

契約の相手方 日本電気株式会社福島支店  
契約の金額 5億2733万9160円

# 平成28年度 伊達市一般会計当初予算



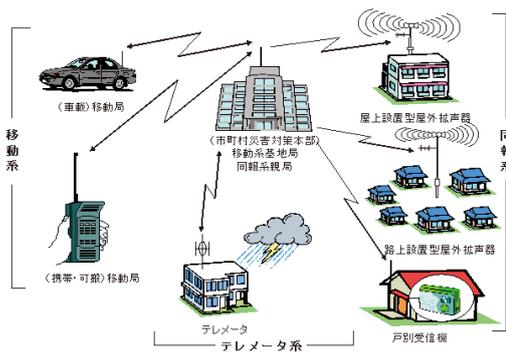
一般会計予算の総額は333億3800万円、前年度当初予算と比較して36億8000万円、12・4%の増としました。内訳は、伊達市のみらいを創生する事業として、地域創生戦略事業をはじめ、将来の発展に資する事業として48億5079万円、引き続き放射能対策事業に取り組むため24億8452万円、そのほか第2次総合計画が目指す、伊達市の将来都市像を実現する事業に取り組むため260億269万円の予算となっています。

各特別会計予算及び伊達市水道事業会計予算については、それぞれの事業の特殊性を踏まえ、各事業を計画的に実施するための予算としています。

## 主な事業

- みらい創生事業  
10億8618万円
- ・学校給食センター建設事業

- ・道の駅建設事業  
7億1784万円
- ・同報系防災行政無線整備事業  
7億185万円



- ・伊達認定こども園整備事業  
3億8880万円
- 放射能対策事業  
17億5603万円
- ・除染対策事業
- 第2次総合計画主要事業  
10億8037万円
- ・本庁舎増築事業



## 観光事業

6301万円

# 3月定例会

一質問では15人の議員が登壇し、市政全般について論戦を展開しました。

# 問Q 一般質問 答A

## 一般質問議員と質問項目

### ■3月1日登壇

- 丹治千代子 議員
  - 働く女性応援事業
  - 産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業
  - 土曜授業
  - 子どもの貧困化の実態と対応策
  - 高齢者の足を確保するため、バスや車・阿武隈急行の無料化
- 菅野 喜明 議員
  - 東北中央道4号線インター付近の堂ノ内地区の開発
  - 議会視察先の山形県天童市を参考としたふるさと納税
  - 市民の憩いの場としての公園整備
  - 伊達市の復興をめぐる諸問題
- 佐藤 実 議員
  - ふるさと応援寄付金への取り組み
- 近藤 真一 議員
  - 学校統廃合に関する諸問題
  - 高齢化に伴う諸問題
  - 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）
- 菊地 邦夫 議員
  - 伊達市の観光
  - 一級河川古川の河川改修に係る市の要望活動

### ■3月2日登壇

- 佐藤 清壽 議員
  - 原発事故から5年、その経過
  - 遠距離通学支援
  - 地域公共交通網形成計画
- 八巻 善一 議員
  - 伊達市本庁舎増築と梁川分庁舎跡施設利活用
  - 伊達な地域創生戦略「せっかくどうも」が地域の合言葉
  - 伊達市小学校統廃合
  - 甲状腺被ばくの現状

- 中村 正明 議員
  - おもてなしワクワク大作戦
  - 市民の思いに寄り添って
- 高橋 一由 議員
  - 高齢福祉対策と施設の充実
  - 雇用の維持と確保
  - A・Bエリアの再除染、Cエリアの全面除染
- 大和田俊一郎 議員
  - 伊達氏ゆかりの「史跡整備計画における八幡神社周辺整備事業」の今後の整備方針
  - 無蓋の防火用水の汚泥の除去
  - 農業用ため池の汚泥の除去

### ■3月3日登壇

- 半澤 隆 議員
  - 昨年の豪雨被害の状況と復旧の進捗状況と今後の対応
  - 伊達市におけるマイナンバー制度の取り組み
- 松本 善平 議員
  - 梁川城本丸跡地及び周辺調査整備
  - 伝樋川の水害対策
  - 伊達市商工会の一本化
- 佐々木 彰 議員
  - 空家政策
  - 伊達市の特別支援教育の考え方
  - 伊達市公共施設等管理計画
- 大條 一郎 議員
  - 子どもへの暴力防止プログラム・CAPの導入
  - 行政とコンビニの連携と利活用
  - 動物愛護の取り組み
- 小野 誠滋 議員
  - 環太平洋連携協定後の対策
  - 鳥獣害対策取組
  - 市営住宅のリフォーム

## ■ママ・パパ、登録して利用してネ!

今年度、伊達市の新規事業としてスタートした「産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業」は、妊娠中や子育て中の世帯に対して、家事・育児を支援するヘルパーを派遣する事業です。この事業は安心して子育てを行う環境づくりを支援する制度です。核家族化が進み、父母だけで子育てをするのは、大変に心細いものです。そんな時に子育てに対するアドバイスなどをしてもらえると、また、多くの家事に対して支援してもらえると、子どもにとっても、保護者にとっても安心して子育てをする上で、大切なことだと思えます。そこで、現在までの利用者登録数を伺います。



丹治千代子 議員

**Q** 今年度、伊達市の新規事業としてスタートした「産前産後子育て支援ヘルパー派遣事業」は、妊娠中や子育て中の世帯に対して、家事・育児を支援するヘルパーを派遣する事業です。この事業は安心して子育てを行う環境づくりを支援する制度です。核家族化が進み、父母だけで子育てをするのは、大変に心細いものです。そんな時に子育てに対するアドバイスなどをしてもらえると、また、多くの家事に対して支援してもらえると、子どもにとっても、保護者にとっても安心して子育てをする上で、大切なことだと思えます。そこで、現在までの利用者登録数を伺います。

- A** 2月末現在で伊達地域が2世帯、保原地域が1世帯、合計3世帯です。
- Q** 現在までのヘルパー派遣回数とサービス内容について伺います。
- A** 3世帯の方々から登録は受け付けましたが、現在のところ派遣の申請要請は出ておりません。
- Q** 市民への周知については、母子手帳の交付の際などが考えられますが、その他にはどんな周知方法をされているのか、具体的な周知方法について伺います。
- A** 母子手帳交付の時、保健師が新生児訪問をした時、その際にこども部で作成したチラシを持参して説明している現状です。なお、市内の認定こども園等に付属している子育て支援センター等でもチラシを配布し、また、市のホームページや市政だより等でも広報に努めております。
- Q** 有料にする場合の料金について伺います。
- A** 平成28年度も引き続き検定期間を延ばすということでは考えていません。

## ■ふるさと納税ついにPR、返礼品の強化へ！



菅野 喜明 議員

**Q** 議会で山形県天童市のふるさと納税の視察を行いました。天童市は今年1月までで、約24億円もふるさと納税を集め、全国1位で返礼品の半分がさくらんぼ等の果物です。当市でも、桃やあんぼ柿など果物が豊富です。漬け物等の加工品、パソコン、地場産品など地域の産業振興にも役立ち、交流・関心人口も増やせます。もはや税収だけの問題ではありませぬ。返礼品の充実、市のPRにもなり、市の将来にとっても大事で、また地域住民の幸せにもつながるのではないのでしょうか、市の考えを伺います。

**A** 天童市のようにする際には、発送や返礼品の確保など体制的な整備が必要で、9月からクレジットカード決済も始めますし、ふるさと納税の多面的な効果を考え、体制を見直して取り組んで参ります。

**希望の森公園の整備促進を！**

**Q** 平成24年6月議会で全体的な整備計画を検討するとの答弁がありました。どこまで検討されたのか伺います。

**A** 全体的な整備計画については、平成28年度中を目標に憩いの場の創出、自然環境の保全、管理運営方法などの観点で検討を進めています。利用者へのニーズを踏まえた公園の方向性を検討委員会の設置など考えながら計画を策定して参ります。

**里山除染と市の取り組み**

**Q** 里山除染について環境省が考えを改め、実施に向けて検討中との報道があります。市長のマニフェストでも触れていますので、今後の進め方を伺います。また、議会で陳情が採択された茶臼山の除染についても伺います。

**A** 県は3月中旬頃、里山除染の実施方針をとりまとめると聞いています。市としては除染の必要性を検討しながら進めて参ります。また、茶臼山の除染については交付金の関係で県と、相談したいと思えます。

## ■チャンスとらえ積極的に取り組むべき



佐藤 実 議員

**Q** 生まれ故郷や応援したい自治体への寄付ができる「ふるさと納税」は、税の使い道に対して納税者の自覚の意識が高まったことや、各自治体が自らの魅力を全国的にPRする意識が高まっていることなどから、市もPRのチャンスととらえて積極的に推進すべきと考えますが。

**A** クレジット決済の導入に向けて、当初予算に計上するなど利便性の向上を図ってまいりたいと考えます。

**Q** 地場産品の返礼品にこだわって内容を充実したところ、爆発的な人気になった例もありますので、返礼品の拡充に取り組むべきでは。

**A** 前向きな方向で検討していきますが、まずは内部の体制の見直し、拡充が必要であると考えます。

**Q** 伊達市の返礼品については市の良さを知っていただいで、継続的に支援していただける特産品を選定するのですが、どの様に検討するのか。

**A** 産業部、観光物産協会からアドバイスいただいています。

**Q** 観光への有効活用は。

**A** 歴史観光をメインテーマに事業を進めていますので、関連の返礼品を加え、今後の観光振興につながるよう取り組んでいきたいと考えます。

**Q** 財政収支見通しでは、交付税が、平成33年度には24億2000万円減ると見込まれています。新たな財源の確保の意味で増収増を目指して取り組むべきと考えますが。

**A** 善意に基づく寄付金なづけはしません。

## ■学校統廃合に関する諸問題について問う



近藤 眞一 議員

**Q** 統廃合は地域のあり方を踏まえ、住民がどう考え決めていくのかが優先される問題だと考える。説明会も始まっているが、現状や進め方等についてお聞きする。住民への説明会に参加した方から、説明会ではなく市当局からの通達の場のように感じたとの意見を聞いたが、それについて見解を伺う。

**A** そのような感想を持たれたことは大変残念であります。当局としては説明した後、じっくりと質疑、意見等をいただく時間は充分と説明してきているつもりです。

**Q** 統廃合は地域全体の大きな問題で、住民の納得と合意を得ていくことが大切だが、合意形成の進め方や、出された意見や要望をどのように統合計

画に取り入れていくのか見解を伺う。

**A** これまでいろいろな意見をいただいております。市当局としても十二分に配慮しながら、おこなえていく部分は十二分にこたえていって理解を求めていきたいと思っております。

**Q** どうしても遠い学校に行くのは嫌だから、何とか地域で学ぶ所がつかれないか等、様々な意見や要望があると思うが、その対応として統合計画の修正や変更の可能性はあるのか見解を伺う。

**A** まだそういった議論の後そのような議論が出てきた中で、それがその地域の総意とか、PTAの総意などのようなことであれば、市当局としては統合計画というのが望ましいと基本的には考えておりますけれども、その時点でまた相談させていただきたいと思っております。

**Q** 廃校となった跡地の活用に関する考えを伺う。

**A** 今後、教育委員会ばかりではなく、他の部局とも連携しながら、地域の意見を踏まえて検討していきたいと考えております。

## ■伊達市の観光について



菊地 邦夫 議員

**Q** 4月から6月に行われる大型観光企画「ふくしまステイネーションキャンペーン(DC)」の後継事業アフターDCで伊達市が実施する4企画の詳細について伺います。

**A** 「伊達氏スタンプコレクション」については、高子岡の館跡、梁川八幡神社、梁川城跡、東光寺、阿津賀志山の防塁、福聚寺、観音寺、伊達朝宗の墓と伊達氏ゆかりの史跡をめぐるスタンプラリーです。次に「やながわ希望の森公園で遊ぶ」は、2千本の桜を初めSL、農家レストラン、アスレチック遊具などがあり、楽しんで頂くということとです。3つ目「政宗ダテニクル」試写会イベントは、伊達氏発祥の地を

PRするアニメーションの完成披露試写会を、4月24日にふるさと会館MDDホールにて開催予定をしています。ほかに声優のトークショー、パネルの展示などを実施します。4つ目「なんちゃってだて巻」は、だて6次化推進プロジェクトが考案したご当地グルメです。伊達鶏、地元野菜をナンで巻いたもので、市内10店舗で販売、他にも復魂祭や各イベントでも販売されています。



17代 政宗

©福島ガイナックス/伊達市

**Q** アフターDCの観光動員予定と計画について伺います。

**A** 昨年の「ふくしまDC」は、平成27年4月から6月までの観光入り込み状況は16万6835人で、平成26年14万2992人より約16・6%の増です。平成28年についても昨年度同程度の入り込み客を指してPR、事業を計画してまいります。

## ■地域公共交通網形成計画について



佐藤 清壽 議員

**Q** 地域交通の実態に合った、地域公共交通総合連携計画を作成して地域交通の空白と不便地域の解消を目的としてきたのですが、人口減少、少子高齢化の状況課題を踏まえて昨年、地域公共交通網形成計画が策定されたが、その目的を伺います。

**A** 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定しました。目的は公共交通の全体の大きなプラン、実施計画を作るのが目的で、第二次総合計画などを、勘案して連携して調整するような位置づけにさせていただいております。

**Q** 現在路線バスを含むデマンド交通の定時定路線に土曜、日曜日は運行休止の地域があります。

す。地域公共交通網形成計画(以下「交通網計画」)での考えを伺います。

**A** デマンド交通は交通空白を埋めるために、交通不便な方に提供することですが、土曜、日曜日は状況を勘案しながら計画をしていき、地域公共交通再編実施計画、マスタープランの中で検討するようになります。

**Q** 観光拠点でもある霊山県立自然公園への地域路線バスがありませんが、今後、福島相馬道路開通によるこの交通網計画に、観光拠点、霊山県立自然公園への地域公共交通の計画を伺います。

**A** 霊山高原構想の中核でもあります。霊山こどもの村がある霊山県立自然公園で、観光の中心になるべきところですが、高速バスはとまるようになつたが、保原の方から行くのがありませんので、交通網計画の中でその点には触れさせていただいております。全体的な交通網計画は通常の公共交通ですが、その観点も盛り込んで今後、関係団体の状況等確認し、意見を聞き、ニーズ調査もしながら検討して行きます。

## ■伊達市本庁舎増築に係る施策について



八巻 善一 議員

**Q** 現在、市役所は本庁舎と分庁舎に分かれており、非効率、かつ市民にご不便をかけていることから本庁舎東側に増築するものでありますが、平成28年度予算として本庁舎工事9億5千万円を含め約10億8037万円とのことだがスケジュールについて伺います。

**A** 平成28年度の事務費として4月に実施設計、建築詳細設計にあわせて開発許可、建築確認申請、建築工事入札(秋口)、年度内の工事着工となります。

**Q** 新庁舎の市長部局、教育委員会、保健センター、駐車場、議会の配置計画を伺います。

**A** 梁川分庁舎の職員(総合支所は除く)を本庁舎に統合、保健センターはそのまま、駐車場は新たに確保、議会は議会専用棟として使用、会派室は2階の会議室を改修して必要な数、部屋を確保します。

**Q** 200名近い職員が本庁舎に統合することによる梁川分庁舎の跡施設の利活用について伺います。

**A** 梁川町は歴史資産のある町です。一つの案として梁川町は阿武隈急行、梁川駅、やながわ希望の森公園前駅、八幡神社、梁川城跡があり、歩いて歴史観光を訪ねる歴史資料館のようなものはどうか、今後広く市民、有識者の意見を集めて検討していきます。

**Q** 伊達市教育委員会の小学校統廃合について予定されている梁川地区5つの小学校について統合は一律の統合か、また統合をしない選択はあるのか伺います。

**A** 原則としては理解を得て同時に統合をしたいと考えています。また、地域がどうしてもという形の時には、分断して教育行政が一遍に統廃合に持っていくということはないと考えています。

## ■おもてなしワクワク大作戦

**Q** 北海道新幹線開業まで一カ月を切りました。東北、北海道がより身近になり交流の機会が高まっています。当市を訪れてくださる皆様に、より満足していただき、私たち市民も誇りを持てる観光資源の整備、受け入れ体制の充実に向けた取り組みについて伺います。

**A** 観光物産交流協会の一一般法人化を進め、4月より活動開始の予定。みずからの企画、発想力の強化に努め、観光の起爆剤、中核的団体として、当市のPR、経済の活性化につなげてまいります。各地域のボランティア団体（おもてなし隊）の皆様と連携、協力し、更なる伊達市の魅力を高めてまいります。また、議員お質しの「窓口の一本化」、「案内板設



中村 正明 議員

置」、「ボランティア養成」、「歴史資料館」、「梁川城大枝城、八幡神社」、「パレオパラボドキシア」等々の整備、PRの課題に対しても、観光物産交流協会、市民団体の皆様の協力を得ながら検討してまいります。

### 市民の思いに寄り添って

**Q** Cエリア面的除染の要望が各地区から市に届けられております。被災地では住民の要望をよく聞いて対応している自治体ほど、復興も早い傾向があると聞かれております。平成24年策定の伊達市復興計画においても「事故以前の安全、安心な生活を取り戻すため、徹底した放射性物質の除染を行うことが緊急重要課題であり、何をにおいても必要」と明記されています。自治体間の「対処差」も如実に現れてきている中、市長は市民に寄り添い、切なる要望に応えるべきではないかと思えますが、執行部の考えを伺います。

**A** 基本は、健康管理をし、被ばくを少なくするという観点で計画を策定し進めてまいりました。不安に思っている人がいることは承知しており、できる限りの努力をしていく考えです。

## ■会議録もない放射能対策会議・市長の画策



高橋 一由 議員

**Q** 昨年の6月議会において、Cエリアを除染しないと科学的な根拠や、最終的に決めた会議の会議録を議会に提出することは可能かとの質問に対し、半沢直轄理事が提出可能と答弁していた。あれから半年以上が過ぎ、催促もしたが未だ提出されず、経過報告も無い、その理由を伺いたい。

（6月議会の会議録確認のため一時中断、確認後に再開）

**A** （直轄理事）調査の結果会議録は存在しておりませんでした。私の思い過ごしで勘違いでした。

（市長）私から答弁させていただきますが、放射能対策会議はメモ等があるはずなので、どういう形の資料になるか調査し、今議会中にご報告申し上げます。

**Q** Cエリアを除染するの決定に、メモ程度で会議録も無い。また、市長あての除染を求める署名付き請願や陳情提出の際も、前もって連絡してあったのにも関わらず、正副市長は立ち会わず、担当者任せ。さらに、月刊誌によれば、市長は、除染を求め発言を続ける中村議員に対し影響力のある有力者に出向き、「あのような人は友人として恥ずかしいのでは。つき合うのは貴方の名誉にかかわるのではないのか。」などと語ったと報じられている。まるで口封じでもしているようだが、これが事実であれば議会も調査すべきだし、許されることではないと考えるが、答弁を求めたい。

**A** 記事には、正しい部分と正しくない部分があります。1つだけ話しておきたいと思えます。「口封じしにきた」とは一言も書いてないし、市長は行ったけれども、「発言をまとめてくれ」とは言っていないと、2カ所に書いてあります。

## ■梁川八幡神社整備事業中断について

**A** 平成27年度は飛翔の広場までの遊歩道の整備と、出会いの広場までの測量と境界確認等を実施しております。途中で終

**Q** 整備途中の遊歩道整備工事が、実施計画よりも縮小された形で行われています。この遊歩道は昔から八幡地区と、東大枝や五十沢地区とを結ぶ重要な生活道路でした。この地域の方々からは、梁川橋まで整備を延長して欲しいという声が多く寄せられています。今回の工事中断に伴い、周辺整備事業についても見直しを行い、地元住民の声を取り入れることが本事業の効果をより高めるために必要不可欠の要件と考えますが当局の考えを伺います。



大和田俊一郎 議員

わるのではなく、あくまでも周遊できる遊歩道整備を目指していきたいと考えております。観光の資源という中では来ていただいた方に喜んでいただけるような、遊歩道の整備が必要だと考えております。今回、梁川城に加えまして八幡神社周辺も国の史跡指定に向けて調査が行われ、その結果、国からの指定内容を踏まえて新たな全体計画を見直すこととなります。計画が決まれば地域の皆様にも説明する予定です。

**Q** ふたのない防火水槽の土砂撤去の進捗状況を伺います。

**A** 梁川は北地区65基、南地区52基、伊達保原地区で42基、霊山は西地区63基、東地区55基、月舘地区47基、全部で324基となり作業は92.9%が終了しており3月中には完了の予定です。維持管理については、各地域の消防団、支団と連携しながら進めたいと思います。防火水槽の事故防止についても計画的に進めてまいります。

## ■昨年の豪雨被害の状況と対応について



半澤 隆 議員

**Q** 道路、河川等の公共施設の被害件数と金額について伺います。

**A** 県で管理しています国道は、霊山地区で6カ所、1億1621万円、月舘地区で5カ所、610万円、県道は、市内で計10カ所、1億2235万円、河川については、市内で計41カ所7億672万円、合計金額は10億1138万円です。伊達市管理施設の市道は、388カ所、河川、42カ所、合計430カ所で、今後見込まれる90カ所があります。

市道の被害金額は2億5726万円、河川の被害金額は2億4776万円です。合計5億502万円です。農業施設関係の水路、道路の被害は、合計277カ所

**A** 県が管理している国道は、保原土木事務所と連絡を密に取り合い進めてまいります。伊達市管内の伊達市管理分の市道等の発注は約77%で、平成28年度内に終えるよう努力してまいります。また農業施設関係や林道についても、年度内完成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

**Q** 今後の対応であります。4886万円です。

**A** 宅地の被害は、129件、金額は1億2220万円、農地関係は、100カ所、4886万円です。

**Q** 宅地等の私有財産分の被害件数と金額について伺います。

**A** 宅地等の私有財産分の被害件数と金額については、129件、金額は1億2220万円、農地関係は、100カ所、4886万円です。

**Q** 今後の対応であります。4886万円です。

**A** 宅地の被害は、129件、金額は1億2220万円、農地関係は、100カ所、4886万円です。



で1億2972万円、次に林道ですが合計82カ所、8071万円になっています。

## ■梁川城三の丸北側の外堀と土塁について

**A** 原因はまだはつきりしていませんけれども、水位が下がり空堀の状況になっております。当該区域については現在県指定の史跡となっておりますので、史跡としてのあり方、景観保全等、適切な管理等については、今後関係各部

**Q** 須田長義公が梁川城の城代となった時、伊達政宗公より攻められるのを恐れて再度深く掘って、外部からの進攻を防ぐのを目的に土塁を高く築いたのであります。一月早々より外堀の水がどこからか漏水し空っぽになり、景観上よろしくない状況であります。そこで現在どこで管理しているのか、どのように漏水を止め元の満水の状態に修復を図るのか伺います。



松本 善平 議員

と調整を図りながら対応してまいりたいと考えております。

### 伝樋川水害対策について

**Q** 平成23年にも大雨が降って伝樋川の水門を閉めるのが遅れ、広瀬川の水が逆流して新中島地内の農作物が大きな被害を受けました。今回も豪雨により浸水し大きな被害を受けました。そこで次のような対策を提案します。汲み切れない水が堤防を越えし、仮の水路に流下して、第2湛防に集水して汲み上げるために、もとの伝樋川の堤防をとりこわし、越水した水が仮の水路に流れ最短距離で第2湛防に集水し汲み上げれば、農作物の冠水を最小限度におさえられないか伺います。

**A** 旧伝樋川の堤防を下げるということですが、伝樋川より越水をした水は、下流排水に流れ込むと思いますが、湛水防除施設のポンプの性能以上に水量が集まる危険性があります。状況と背景もありますので、元の堤防を下げることにについては、それらの原因等も精査し、検討してまいりたいと考えております。

## ■これからの特別支援教育

**Q** 伊達市内から特別支援学校へ通う児童生徒の現状はどのようなようになっていきますか。

**A** 特別支援学校への通学については、県立大笹生養護学校、福島大学附属特別支援学校、県立聾学校等を含めて、小学部については21名、中学部18名、現在39名の児童生徒が特別支援学校等に通っています。大笹生については学校のスクールバスの利用が23名、伊達市の通学支援バスが5名、病院からの通学、保護者による送迎と公共交通機関での通学となっております。



佐々木 彰 議員

**Q** 特別支援学校への通学については、距離や時間などの通学環境の改善が重要と考えられますか。

**A** 伊達市では小学校統合を考えており学校の施設が余ることが予測されます。空き教室を特別支援学校の分校に活用するなど考えはあります。

**A** 特別支援学校への通学は、遠距離になっており、本人はもとより家族等にも大きな負担になっていきます。また地域の中に特別支援学校があることにより、地域の理解や、地域で開かれた教育活動を行い、共生していくことが大切であり、本市においても必要性は高いと考えております。平成24年からは分校設置の要望を継続しており、学校統合等による空き教室等の情報提供は行っていく考えです。



## ■CAPの導入で子どもたちを暴力から守ろう！



大條 一郎 議員

**Q** CAPとはチャイルド・アソルト・プリベンション、子供への暴力防止の頭文字で、子どもたちがいじめ、痴漢、虐待、誘拐、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための人権プログラムで、子どもを対象としたワークショップでは、幼児、小学生、中学生、障害のある子、児童養護施設の子どもたちに、それぞれ発達段階にふさわしい寸劇、歌、人形劇、討論などを盛り込んでおり、安心、自信、自由の人権を子どもたちに繰り返し伝えることで、全ての子どもたちが、本来持っている生きる力を引き出すプログラムであります。そして、自分の3つの大切な権利が奪われそうになった

ら、ノー（嫌と言う）ゴー（逃げる）テル（相談）するという方法があることを知り、必要なときに上げるウォーという特別な叫び声を練習します。学校や保育園、幼稚園をキーステーションとして、子どもや教職員、そして保護者にワークショップを提供します。そこで、このCAPプログラムについてのご認識を、教育長にお伺いいたします。

**A** CAPプログラム、これは子どもへの暴力、いじめとか虐待とか性暴力、それらのない社会、子どもたちの人権を守る社会を目指す、そういうふうな意義のある活動の一つというふうに認識しております。



## ■環太平洋連携協定後の対策について



小野 誠滋 議員

**Q** TPPの影響により、安価な外国産の農産物が大量に輸入されるのは明白であり、国民理解が十分に進んでいない現在では、我々が生産する農畜産物に対して正当な評価がなされず、その結果、営農継続が困難になる事は容易に想像が付きまします。ただでさえ農業を取り巻く情勢は日々、目まぐるしく変化し、厳しさを増している中であって、TPPにより農業、農業生産者に、さらに追い打ちをかけるようなことがあつてはならないと思っております。国や政府が思い描いている日本農業の姿と、我々家族農業を中心とした農業者の思い描く未来とは大きな隔たりがあります。我々は将来にわたって、

豊かな食と環境、地域社会を支えていく、重責を果たしていかねければなりません。そのため我々農業者は、食糧生産を通じて、この先何世代にわたって、農業が営まれるような基盤を築かなければならないと思っております。このような現状をとらえ、TPPの締約後の対応、対策には喫緊の課題と思うが、市の対応について伺います。

**A** TPPは合意形成がなされているため今さらとめる議論にはならないと思っております。

もうすでに調印されたわけですが、これから国会決議がありますので実行されるまでは時間がありますので、今後きちんとした体制はとっていきます。市としても第2次総合計画や地域創生戦略、人・農地プラン等を活用しながら、農業政策に憂いを残さないような取組をします。

TPP対応についても今後国の推移を見まもり、農家農業者の不安払拭のため、専門的なプロジェクトチーム等を設けきちんとした体制を取って進めたいと思っております。

## ■伊達市第2次総合計画に関する 調査特別委員会の報告を承認

「伊達市第2次総合計画」に関する調査特別委員会」が調査研究を行なった結果を最終日3月17日、本会議で佐藤実特別委員会委員長が報告、承認されました。

本委員会では、「相馬福島道路の整備に伴う交通利便性の向上による商業圏の拡大について」と「人事、財政などを中心とした行政経営について」を調査研究課題とした。

「相馬福島道路の整備に伴う交通利便性の向上による商業圏の拡大について」は、相馬福島道路の工事が着々と進められていることから、その進捗状況の確認及び商業圏の拡大という観点から、堂ノ内地区の大型商業施設についての現況調査が必要である。これらのことについて担当部局、商業施設進出予定者等からの聞き取りなどを実施し調査研究を行った。

「人事、財政などを中心とした行政経営について」は人事計画をはじめ財政計画など行政経営について、合併から現在までの経緯、また指定管理者制度の運営方法の確認、今後の展開などについて執行部からの聞き取りを行い、今後の行政経営について調査研究を行った。



安藤喜昭議長（左）に報告書を提出する佐藤実委員長（中央）と佐々木彰副委員長（右）

本委員会の構成は各常任委員会から2名以上の参加となっていることから、今後は各常任委員会が計画から事業実施への過程のチェックを行っていくことを委員全員で意思を統一した。

今後、基本構想だけではなく、基本計画についても議決事件としていくことが議論されているが、調査時間の検討、審査機能を構築することを模索するなど、多くの課題を解決していく必要性を認識した。今後は、各常任委員会の審査の方法などの改善を進め、議会として市民の負託に応えられるよう、議会の機能向上に努めていきたい。

## みなさんからの請願・陳情

3月定例会で受理したのは、請願5件、陳情3件の合計8件でした。所管の委員会に付託して審査し、委員長が本会議に審査結果を報告、採決の結果、次のとおり決まりました。なお、継続審査となっていた陳情2件についても今回決まりました。※請願第2号、3号は、同一趣旨の請願であるため一括して採決しました。

受理番号	請願件名	請願者	採決の結果
第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	日本労働組合総連合会福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	趣旨採択 (産業建設常任委員会)
第2号	給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書提出の請願について	日本労働組合総連合会福島県連合会 伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採 択 (文教福祉常任委員会)
第3号	「奨学金制度の充実等を求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	採 択 (文教福祉常任委員会)
第4号	「寡婦控除を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	採 択 (総務生活常任委員会)
第5号	「ヘイトスピーチを禁止する法律の制定等の対策強化を求める意見書」の提出を求める請願書	社会民主党伊達総支部 代表 清野 辰夫	趣旨採択 (総務生活常任委員会)
受理番号	陳情件名	陳情者	採決の結果
第8号	北郷町内会から市道（路線番号32086）秋切中北2号線に面して農地の中を通り桐木町内会に抜ける側溝の排水・雨水を速やかに流すための改良工事を求める陳情書	代表 地権者代表 遠藤 定夫 ほか2名	12月定例会 継続審査 趣旨採択 (産業建設常任委員会)
第10号	沖縄の米軍普天間飛行場の代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	名護市議会議員 宮城 安秀 ほか10名	12月定例会 継続審査 不採択 (総務生活常任委員会)
第1号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子	採 択 (文教福祉常任委員会)
第2号	閑地利用に関する陳情書	上保原地域づくり振興会 代表 上保原地区交流館長 佐藤 裕二 ほか2名	継続審査 (総務生活常任委員会)
第3号	森林除染の推進を求める意見書の提出を求める陳情	代表 台自治会長 松浦 宏光 ほか5名	採 択 (産業建設常任委員会)

# 独眼流

## 伊達三つ目と思ひの

伊達市保原町 寺内 茂男



みどり豊かな信達平野を走る阿武隈急行。通勤通学者にとつて欠かすことのできない足である。各駅にはキャッチフレーズがあり、伊達の側面を表している。まず「伊達氏発祥の地」。これを聞くと伊達の歴史の奥深さを感じる。伊達氏を始め古より数多くの足跡が刻まれている伊達。平安時代初期、靈山山頂に靈山寺を開山し、東北山岳仏教の一大文化拠点とさせた慈覚大師。また南北朝時代、多賀城から国府を靈山へ移し太平記にも登場する北畠顕家。等々伊達には脈々とした歴史が流れている。

次に「疎水光る桃源郷」。これは先人の力強い重みを感じる。古来伊達の地は水利に乏しい土地柄。江戸時代初期より始まった利水事業は失敗に失敗を重ねながらも広瀬川から、昭和に入つて阿武隈川からの疎水を構築し水不足が一挙に解決さ

れたという。江戸、明治大正、昭和と長きにわたる先人の疎水へのあくなき挑戦を忘れてはなるまい。

3つ目は「いちごごくだもの里」。情熱とたゆまぬ進化を感じる。くだもの王国福島県にあつて伊達市はいちごの生産量第一位だぞつだ。いちご栽培を根付かせ普及させた情熱と最先端技術を取り入れた水耕栽培などたゆまぬ進化を続けているの結果であると思つ。

5町が合併して今年で10年となる。変化に課題はつきものだ。歴史ある伊達市が5町の強みを活かしながら一体的な強みをどう融合発展させていくかが益々重要となる。そのためにはあくなき挑戦を続け伊達を切り拓いた先人の精神を鑑み、それぞれ個々の役割の中でたゆまぬ進化をし続けることも必要であろう。次の10年はホップからステップへのステージだ。

### 3月定例会賛否一覽表

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案等	議員名																							
	大條 一郎	吉田 一政	滝澤 福吉	菅野 喜明	高橋 一由	八巻 善一	小野 誠滋	熊田 昭次	清野 公治	原田 建夫	松本 善平	大橋 良一	橘 典雄	大和田俊一郎	佐々木 彰	菊地 邦夫	佐藤 実	菅野與志昭	近藤 眞一	佐藤 清壽	丹治千代子	中村 正明	半澤 隆	
議案第23号 平成27年度伊達市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号 平成28年度伊達市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第10号 沖繩の米軍普天間飛行場の代替施設建設の早期実現、沖繩米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議決結果	賛成○ 反対●																							
賛成・反対	賛成17：反対6																							
議決結果	可決																							
賛成・反対	賛成18：反対5																							
議決結果	可決																							
賛成・反対	賛成20：反対3																							
議決結果	趣旨採択																							
賛成・反対	賛成0：反対23																							
議決結果	不採択																							

※議長(安藤喜昭)は採決に加わらない  
※会派名の省略 共産↓日本共産党伊達市議団

### 編集後記

伊達市は合併十周年という節目の年を迎えました。これまでの歩みを振り返り、これからの伊達市の発展を市民とともにつくりあげ、更なる飛躍を内外にアピールするため、様々な記念事業が予定されています。まさに次の十年に向けたスタートと言えます。

広報委員会が市民の皆様方に届ける「議会だより」も新たに今号からタイトルを公募で決定し、保原高校の美術部の生徒が、表紙のデザインしたものに装いを変えてスタートしました。今後市民と議会を結ぶ大切なツールとして、「伝わる広報」を目指して、これからも努力を続けてまいります。(実)

#### 議会広報委員会

- 委員長 大條 一郎
- 副委員長 菅野 喜明
- 委員 中村 正明
- 委員 佐藤 実
- 委員 佐藤 彰
- 委員 佐々木 彰

#### 6月定例議会の予定

○6月9日(木)午前10時に招集される予定です。